

平成28年度 学校関係者評価書

学校名	和歌山市立西脇中学校
作成日	平成29年3月3日

1 教育目標

共に豊かに生きる

2 学校の自己評価についてのご意見

	開かれた学校	ゆたかな心	確かな学力
重点目標に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> ★アンケート結果からも解るように、西脇中学校では、情報(教育活動や生徒の活動)を積極的に発信していただけてると感じる。開かれた学校として引き続き積極的な情報発信をお願いする。 ★積極的な情報発信が行われている。これからも地域共育コミュニティと積極的に交流してほしい。 ★今後も家庭や地域に向けた情報発信をお願いしたい。 ★家庭との連携を積極的に行い、信頼されるのは最も大切なことである。 ★家庭との連携を密にして信頼される学校を目指して欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ★「誠実で思いやりがあり社会貢献出来る個性豊かな人間」を育てることは一朝一夕では難しい。子ども達と共に「ゆたかな心」を育てていきたい。 ★道徳教育・学校行事・学級活動を通して心豊かな思いやりある生徒の育成を、学校・家庭・地域の連携で進めたい。 ★自分以外の人々を思いやれる、そんな教育を望む。 ★家庭・地域・学校が一体で取り組める施策が欲しい。 ★体験的な活動を通して目標を持たせたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ★全国学力・学習状況調査の結果から見ると、本校の状況は厳しい。引き続き、よくわかる授業を心がけて進めていただくと共に、課題の提出や、確認テスト等を増やすなど、学力の定着を確認する過程が必要ではないか。 ★「学び合いの授業」「キャリア教育」の更なる充実を願う。 ★もっと学びたい!と思える授業の工夫・改善を積極的にお願いしたい。 ★生徒に興味・関心の持てる授業で家庭学習につなげられればと思う。いつか芽が出ることを願う。
取組の状況に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> ★「ぐるりんメール」「ホームページ」「にしわき新聞」等により学校の予定や様子をタイムリーに発信していると感じ、嬉しく思う。引き続きお願いしたい。 ★学校の情報が積極的に発信され、家庭との連携が密になり、理解と協力が繋がっている。 ★ITを駆使して学校の情報を早く積極的に発信していることは評価する。 ★「ぐるりんメール」「ホームページ」活用はいいことだと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ★「学び合いの授業」や「ゲスト・ティーチャー」の体験を通じて、自分と他人の考えの違いを知り、自分とは違う考え方や、仲間の知恵を借ることで、更に自分自身の考えを確立させていって欲しい。 ★生徒実践目標、学び合いの授業、ゲストティーチャーを継続することで生徒の学びになる。 ★学校生活で「あ・そ・べ」は基本である。この徹底が他のことにも繋がると思う。 ★グループ学習を通して学級・学年の集団づくりを進めるのはよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ★「学び合いの授業」は、子どもたちにとって「考える」,[説明する],[学びとる]大切な練習になる。友達の意見を聞き、それらを繋げながら自分の考えを更に深めていってほしい。 ★学力の調査結果を受け止め、学習面・生活面の問題解決に取り組んでいただきたい。 ★研修で先生がレベルアップされることは評価する。授業の工夫で生徒の学ぶ意欲を高めて欲しい。 ★集中力を養うためにも、読書タイムを充分活用して欲しい。
検証結果に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> ★科学技術部や吹奏楽部の取り組みは、大変素晴らしいことだと思います。特に地域神社への絵馬奉納が来年で干支が一周することを聞きました。今後も子供達と、地域との触れ合いを継続して欲しいと思います。 ★両小学校や地域での活動は、生徒のやる気・自信につながる。今後も継続を。 ★90%の評価を得ているので、内容を精査しつつ継続してほしい。また返信は参考にしたい。 ★吹奏楽部の夏祭りでの演奏など、本当に素晴らしい。毎年楽しみにしてくれている人も沢山います。 	<ul style="list-style-type: none"> ★アンケート結果より、子どもたち自身も、あ(挨拶)、そ(掃除)、べ(ベル着)をしっかり心掛けている様子が伝わってきて嬉しく思います。 ★アンケートの肯定率からみて、大いに評価できるところである。 ★この「躰」教育はおおいに評価する。 	<ul style="list-style-type: none"> ★子どもたちによって、学力の到達度が違う中で、全員の学習意欲を向上・維持させることは本当に難しいことだと思います。引き続き、子どもたちが興味・関心を持つ授業への追及をお願いします。 ★計23人の授業公開と協議を、ぜひ授業改善に活かして欲しい。おおいに評価する。 ★先生のレベルアップが着実にdきている。基礎学力の向上を家庭学習へとつなげたい。 ★テスト前の補充学習について、おおいに検討をしてほしい。
改善方法に向けての意見	<ul style="list-style-type: none"> ★学校行事への保護者の参加が少ないのは、大人としての対応が必要な中学生という難しい時期に対して、保護者も適切な距離を保っていることも一つの要因だと思うが、何か寂しさを感じる。 ★継続することで成果があがると思うので、共育コミュニティ活用の充実を期待する。 ★地域の回覧板に学校情報のお知らせが入れたいと思う。 ★アンケート中の「学校の中身が分からない」「子どもの様子がわからない」ことへの対応をお願いしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ★9割近くの子供達も、学校に行くことが楽しく、安心して生活できる場所であると感じており、子ども達にとって西脇中学校は大切な学びの場所になっていると改めて感じる。今後も様々な活動を通して『ゆたかな心』を育てていって欲しい。 ★継続してほしい。 ★挨拶・掃除・ベル着は生徒のみならず社会人にも大切なこと、徹底して指導願います。 ★反骨心の旺盛な年頃、先生方もこの項目に率先して取り組んで欲しい。 ★「心に栄養を与える」取り組みを。 	<ul style="list-style-type: none"> ★テスト前補充授業など「3点固定」を合言葉に学びの定着を支援していただいていることに感謝する。引き続き、「確かな学力」に向け、子どもたちの支えを願う。 ★「学び合いの授業」を充実させ、一人一人の学力向上を目指して欲しい。「朝の読書」の充実と継続を願う。 ★成績のよいことがすべてではないが、勉強することで自分の可能性が広がるということに気づく指導をお願いしたい。 ★読書＝文章の理解、はすべての教科に繋がる。ぜひ継続して欲しい。

3 その他のご意見

<ul style="list-style-type: none"> ★次年度は「学び合いの授業」づくり3年計画の最終年と聞いた。「学び合い」の根底にある「ひとりも見捨てない」という考え方が、子供たちにも実感をもって伝わった時、「学び合い」の授業が活きてくるのではないかと。引き続き、「全ての子ども達の居場所と出番のある学校づくり」に向けご尽力をお願いする。 ★生徒指導の難しい時期だが、学校全体で問題に取り組んでいることが理解できてありがたい。今後も先生方の「明るく元氣な挨拶・声かけ」をお願いし、一人一人を見守っていただきたい。 ★若い先生があまり挨拶してくれないと感じる。登下校の生徒は数年前に比べると落ち着いた印象である。ただ、ヘルメットなしの通学生はよく見かける。 ★学校と家庭の連携が大事。場合によっては保護者と顔を合わせて離すことも大切である。また、協調性やマナーを培うためにもクラブ活動の充実を望む。職員アンケートで「部活動に真剣に取り組んでいない」「基礎学力が低い」と回答されているので重く受け止めて欲しい。
